

## ～院長コラム～

### 『 大人の長引く咳には 』

西洋薬の咳止め(鎮咳剤:ちんがいざい)を飲んでもなかなか咳が止まらないことがあります。

中枢性鎮咳剤はカラダが体内にある不要な物を排出しようとする反応を無理矢理に押えることで咳を止めます。

対症療法ということです。根本的な治療ではないわけです。

これで症状が楽になれば良いですが、うまくいかない時には漢方薬を試みましょう。

今飲んでいるお薬に追加で結構です。

水鼻、サラサラの痰があり、時々ゼロゼロするなら小青竜湯(しょうせいりゅうとう)です。

痰がからむ強い咳になってきたら麻杏甘石湯(まきょうかんせきとう)・五虎湯(ごこうとう)です。

ノドがイガイガして、むせるような咳が出る時は麦門冬湯(ばくもんどうとう)です。

乾いたような、痰がからんだような咳が出てどれを飲んだらいいかわからない時は、麦門冬湯+麻杏甘石湯(あるいは五虎湯:これは夜間の咳にも対応します)と2つ合わせて飲みます。

さらに、カゼの回復期、インフルエンザの解熱後に咳が止まらない時は竹茹温胆湯(ちくじょうたんとう)です。

抗生剤、抗アレルギー剤と合わせて飲んでも大丈夫です。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード  
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ  
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2013年1月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ [www.n-kodomo.com](http://www.n-kodomo.com)

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付

△:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100